

メディアドクターin 関西

@第 34 回医学情報サービス研究大会

テーマ：著名人のがん報道をどう報じるか
ー情報の受け手と伝え手の視点を考えるー

日時：2017年8月27日（日）9:30～11:00

場所：関西医科大学 1F 実習室 1A

企画提案者：

渡邊清高¹⁾³⁾、北澤京子²⁾³⁾、佐藤正恵³⁾

¹⁾帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科、²⁾京都薬科大学、

³⁾メディアドクター研究会

有名人のがんの診断や治療をきっかけに、原因や対応、経過などについて報道で接する機会が多くなってきています。関心の高い医療の情報をどのように読み解き、伝えるのがよいでしょうか。参加者全員で新聞記事を「科学的根拠」「エビデンスの質」「弊害やコスト」「あおりと病気づくり」「情報源」などのメディアドクター指標に沿って批判的に読む演習形式のワークショップです。

第34回医学情報サービス研究大会（大阪府枚方市）における「参加者企画」として開催します。研究大会に参加する方は無料で参加できます。

メディアドクターとは、医学記事を書く際に、その質を向上させようとする活動です。医療の専門家とメディア関係者とがチームを組んで、社会に発信された医療・保健記事を臨床疫学などの視点から“採点”、“評価”し、その結果をインターネット上に公表するというユニークな活動で、オーストラリアに始まり、カナダ、米国、ドイツでも実施されているものです。

（メディアドクター研究会ウェブサイトより <http://mediadoctor.jp/>）

メディアドクターの取り組みによる医療健康報道の質向上に向けた研究
（平成29年度科学研究費助成事業）

